

「立山町立高野小学校」で出前講座！

TATEYAMA SABO



流域の次代を担う小学生の皆さんを対象に、砂防事業を通して、地域を知り、さらにふるさとに親しんでもらうことを目的とした「総合的な学習の時間」支援の一環として、立山町立高野小学校にて出前講座を実施しました。授業では暴れ川として有名である常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割、立山で行われている砂防事業について説明しました。講座が終わる頃には、立山の観光地としての側面だけではなく、防災事業が行われている地としての側面を理解していただきました。

開催日：令和7年6月25日(水)

場 所：立山町立高野小学校

時間帯：10:35～11:20

参加者：6年生(12名)

講座内容

- 土砂災害とは
- 砂防とは
- 砂防堰堤のはたらき
- 立山カルデラ
- 常願寺川の特徴
- 立山の砂防



映像も用いてわかりやすく説明

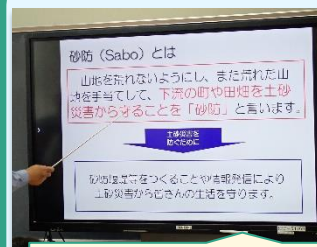
カルデラ見学も
お楽しみに！！

晴れますように☀️

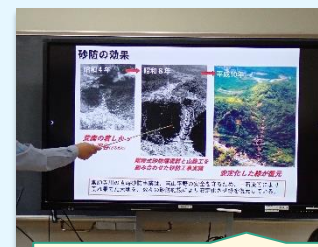
2月の学習成果発表に向けて、
メモを取りながら話を聞いてくれました！

10月には事務所を訪れて立山カルデラでの現場を見学、トロッコにも乗る予定です。
また、2回目の出前講座では土砂災害の模型等により実験を行い、学習を深めます。

※今回の出前講座は、令和6年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました。



世界で通じる「Sabo」

カルデラはスペイン語で
「鍋」という意味です。砂防によって緑が
復元したね。

砂防の知識を楽しく増やすことができました！



立山に行ったことがある人～？



はい！👏

そこでーす！

高野小学校は
どこかな？